

2015 (平成27) 年度 北星学園大学後援会 事業報告 2016年3月31日現在

2016 (平成28) 年度 北星学園大学後援会 事業計画

1. 会議の開催状況

- ①2015年5月20日(水) 第1回役員会開催 (於: ホテル札幌ガーデンパレス) 44名出席
②2015年5月30日(土) 総会・懇親会 開催 (於: 北星学園大学) 総会 119名出席 懇親会 120名出席
③2016年1月20日(水) 第2回役員会 開催 (於: ホテル札幌ガーデンパレス) 役員会 39名出席 懇親会 39名出席

2. 予算執行状況

(1) 教育・研究条件整備補助事業 (8,600,000円)

- 「後援会文庫」
●後援会寄贈図書 3,000,000円
●事務用機器補助
●事務用機器補助 1,800,000円
●教育用機器補助
●教育用機器補助 3,800,000円

(2) 教育・研究活動補助事業 (1,295,000円)

- 北星ビジネス通信 300,000円
●学術出版補助 [1,000,000円]
「Introduction To Hospitality and Tourism: A CLIL Approach」(森越京子教授、吉田かよ子教授) 995,000円

(3) 学術講演会・学会補助事業 (1,699,687円)

- 北星英研補助 50,000円
●北星教職ネットワーク 199,560円
●北星心理学フォーラム 100,000円
●北星学園大学ジェンダー研究会補助 160,000円
●北星・心コミラウンドテーブル補助 160,127円
●学会補助 [1,030,000円]
・文学部 中嶋 輝明 教授 「日本リメディアル教育学会」 200,000円
・文学部 鈴木 剛 教授 「日仏教育学会」 150,000円
・文学部 高橋 克依 教授 「北海道地域文化学会」 110,000円
・社会福祉学部 J. アリソン 教授 「日本キリスト教教育学会」 170,000円
・社会福祉学部 杉岡 直人 教授 「北海道地域福祉学会」 200,000円
・社会福祉学部 佐藤 祐基 専任講師 「日本ブリーフサイコロセラー学会」 200,000円

(4) 地区別父母懇談会事業 (7,695,184円)

- 経費総額 7,695,184円

(5) 学生各種活動補助事業 (36,745,571円)

- 課外活動補助
・課外活動備品補助 (ダブルネット、柔道畳、ボティプロテクター他) 1,953,811円
・大学祭援助金 300,000円
・大学祭テント、ブース他 2,174,040円
・全国大会出場補助 (フットサル同好会、合気道部、少林寺拳法部、準硬式野球部、弓道部、バレーボール部、チアダンス部) 1,538,606円
・サークル活動活性化補助 (学外施設利用料など) 1,754,000円
・課外活動広告補助 (硬式野球部、アイスホッケー部他) 116,000円
●就職活動補助
・B-CATCH運用補助 2,700,000円
・就職支援セミナー他 4,897,014円
・SPI補助 856,000円
●国際交流活動補助
・国際交流活動、派遣留学生への奨学金補助 6,000,000円
・国際交流活動、派遣留学生への奨学金補助 3,980,000円
・成績優秀者学業奨励金補助 6,176,100円
●ボランティア活動 3,500,000円
●ピアサポート補助 800,000円

(6) 広報活動事業 (2,796,331円)

- 後援会だより発行 (年4回) (第121号6/1、第122号8/1、第123号12/1、第124号3/15) 2,794,807円
●後援会会員台帳 (名簿印刷代) 1,524円

(7) その他の事業 (23,695,722円)

- 事務運営費 457,585円
●役員会・総会・懇親会 1,270,395円
●事業基金への繰入 6,000,000円
●大行事助成費
・新入生への記念品 1,924,000円
・卒業記念祝賀会 (9月・3月卒業時)、卒業記念品贈呈 (photobook)、卒業証書用ホルダー 13,423,540円
・大学主催の文化事業援助 (スプリング、オースタム、講演会、クリスマスコンサート等) 620,202円

(8) 事業基金取り崩し (45,000,000円)

- センター棟の什器購入資金 45,000,000円

3. 入会状況

在学生父母 4,182名、同窓生 5名 (計4,187名)
※在学生父母数は、会費を納入している者から兄弟減免返戻によるものと三役・同窓生理事を除いた数

1. 2016年度 会員数見込

在学生父母 4,043名 (会費未徴収者除く)
同窓生 6名
4,049名

2. 事業計画

(1) 教育・研究条件整備補助事業 (会則第4条第1号)

- ①図書充実のため「後援会文庫」およびDVDプレーヤー購入費補助
②事務効率化のための事務用機器の購入費補助
③教育用機器充実のための機器購入費補助

(2) 教育研究活動補助事業 (会則第4条第2号)

- ①教育・研究活動の充実のための補助 (「北星ビジネス通信」印刷費に係る費用)
②教員の学術出版に対する補助
③短大英文学科主催: 観光・ホスピタリティ・航空業界セミナーに対する補助
④経済学部主催: セントオラフ大学との学生間交流に対する補助

(3) 学術講演会・学会補助事業 (会則第4条第3号)

- ①全国学会 (含む北海道大会) の学内開催における補助
②北星学園大学英語教員研究協議会 (卒業生の中学・高校教員と本学教員) の活動に対する補助
③北星教職ネットワーク (特別支援学校を中心とした現役教員として活躍する卒業生のネットワーク) 整備補助
④心・コミ学科主催: 北星・心コミラウンドテーブルに対する補助
⑤福祉計画学科主催: 北星学園大学ジェンダー研究会に対する補助
⑥福祉心理学科主催: 北星心理学フォーラムに対する補助

(4) 地区別懇談会事業 (会則第4条第4号)

- ①札幌地区～全学部 (文学部、経済学部、社会福祉学部、短期大学部) 合同で開催 (7月・10月)
※個別懇談開催前に学科別に控室を設けて、父母同士の懇談ができるようにする。7月は学部の3・4年次と短期大学部の2年次のみを対象に実施する。10月については全学年を対象として実施する。
②北海道内主要都市等 (函館、苫小牧、北見、旭川、帯広、釧路) で開催する。また、実施方法については、個別懇談をスムーズに進めるために、例年と同様に全体会の時は、概ね学科別に担当者を選んで昼食を取りながら基本的な説明を行う。

(5) 学生各種活動補助事業 (会則第4条第5号)

- ①課外活動の充実のための備品購入
②大学祭に係る援助
③全国大会出場者への補助 (個人及び団体に対して旅費交通費等の一部補助)
④サークル活動活性化に係る費用補助 (学外施設利用料など)
⑤課外活動広告補助 (大会等のプログラム広告掲載)
⑥就職活動の充実のための補助
・コンピテンシー診断年間運用費補助
・キャリア・デザイン・プログラム (CDP) 講座講師料
・SPI試験料補助
・モキ就の運営費補助
・学内企業説明会業務委託
⑦国際交流活動の充実のための補助 (教育の国際化援助、東アジア学生交流プロジェクト招聘補助、派遣留学生への渡航費援助、その他の国際交流事業全般)
⑧奨学事業補助 (成績優秀者学業奨励金補助)
⑨資格取得のための北星オープンユニバーシティ講座受講料補助 (受講料の2割)
⑩学生ボランティア (東日本震災被災地への派遣、国際ボランティア派遣等)

(6) 広報活動事業 (会則第4条第6号)

- ①「後援会だより」年4回発行
「学園報」を会員に送付する。(学園情報の提供)
②「会員台帳 (名簿)」及び「後援会活動報告書」の作成

(7) その他の事業 (会則第4条第7号)

- ①新入生への援助 (USBメモリーカード・ホチキスの提供)
②卒業生への援助 (卒業祝賀会開催、卒業証書ホルダー、卒業記念品贈呈等)
③文化事業援助 (大学主催の文化講演会、各種コンサート開催等の謝礼)

3. 事業基金繰り入れ

全体の事業計画及び予算の執行状況を勘案し、6,000,000円を繰り入れたい。

4. 事業基金積立金の取り崩し

昨年は新センター棟改修に対して学生交流スペース充実のためのテーブルや椅子・ベンチ等の什器購入資金に充てたが、本年度は取り崩しを行わない。

Table with columns: 開催地, 日程, 会場, 出席組数 (英文, 心コ, 経済, 経情, 経法, 福計, 福祉, 福心, 短英, 短生, 合計), 出席人数 (合計)

2015 (平成27) 年度 北星学園大学後援会 決算

【収入の部】 2016年3月31日現在

Table with columns: 科目, 2015年度予, 2015年度決, 増減, 摘要

【支出の部】

Table with columns: 会則条項, 科目, 2015年度予, 2015年度決, 差異, 執行率, 摘要

Table with columns: 2014年度末残高, 2015年度繰入額, 2015年度取崩額, 2015年度末残高, 摘要

2016 (平成28) 年度 北星学園大学後援会 予算

【収入の部】

Table with columns: 科目, 2015年度予, 2015年度決, 2016年度予, 決算対比, 摘要

【支出の部】

Table with columns: 会則条項, 科目, 2015年度予, 2015年度決, 2016年度予, 決算対比, 摘要

Table with columns: 2014年度末残高, 2015年度繰入額, 2015年度取崩額, 2015年度末残高, 2016年度予繰入額, 2016年度取崩額, 2016年度末見込額

コンサート・講演会のお知らせ

本学同窓会と後援会が後援し、下記のコンサートと講演会を開催いたします。
入場は無料です。多くの方のお越しをお待ちしております。
受付期間はそれぞれ異なりますのでご注意ください。

◆ 保田紀子パイプオルガンコンサート 「ドイツ・オルガン音楽の伝統 バロック～ロマン派～現代」



日時：10月2日(日) 14:00～
場所：北星学園大学 チャペル
演奏：保田 紀子

(元松本市音楽文化ホール専属オルガニスト。日本オルガニスト協会会員、日本オルガン研究会会員。)
※演奏曲目/D.ブクステフーデ フレリューディウム ト短調 BuxWV.149
(予定) J.S.バッハ トッカータ、アダージョとフーガ ハ長調 BWV.564
P.ヒンデミット ソナタ 第2番 J.ブラームス 「11のコーラル前奏曲」より
M.レーガー 序奏とパッサカリア 二短調

お申し込み方法について

「〇月〇日 〇〇コンサート(または講演会)希望」と明記のうえ、「氏名、電話番号、参加希望人数」をお書きになり、ハガキ、FAX、e-mail、又は電話(平日9:00～17:00)にてお申し込みください。定員に達し次第、受付を締め切らせていただきます。

なお、小さなお子様(未就学児)の入場はご遠慮願います。

受付期間について

お間違いないようお願いいたします。

保田紀子パイプオルガンコンサート

9月12日(月)～10月1日(土)まで

「面白南極料理人」著者 西村淳さん講演会

10月11日(火)～10月28日(金)まで

◆ 「面白南極料理人」著者 西村淳講演会



日時：10月29日(土) 14:00～
場所：北星学園大学 図書館棟4階A教室
講師：西村 淳

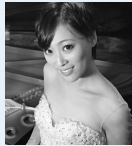
(南極料理人。北海道赤十字看護大学非常勤講師、災害beatS研究会スーパーバイザー、留萌市観光大使)

演題：「知らない世界の話をしよう
～南極の厳しい自然と人間模様と食～」

工藤重典フルートコンサート

11月21日(月)～12月10日(土)まで

◆ 工藤重典フルートコンサート



日時：12月11日(日) 14:00～
場所：北星学園大学 チャペル
演奏：工藤 重典(フルート)

(フルート奏者。1978年パリ国際フルート・コンクール優勝、1980年J・P・ランバル国際フルート・コンクール優勝。パリエコールノルマル教授、東京音楽大学教授、上野学園大学客員教授など。)

工藤 セシリア(ピアノ)

※演奏曲目/クレメンティ ソナタ ト長調 作品2-3 モーツァルト ソナタ イ長調 k.305
クライスラー 愛の悲しみ シンコペーション

連絡先・申込み先

〒004-8631

札幌市厚別区大谷地西2丁目3番1号

北星学園大学同窓会事務局

TEL: 891-2731

(平日9:00～17:00内にお願います。)

FAX: 896-8311

メール: dousukai@hokusei.ac.jp

2016年度 成績優秀者学業奨励生 (学籍番号順)

英文学科

1301048	1401123
1301091	1401130
1301127	1501024
1301132	1501038
1301141	1501041
1401055	1501097
1401075	1501118
1401088	

心理・応用コミュニケーション学科

1308009	1408060
1308020	1408076
1308067	1508007
1308074	1508018
1308106	1508043
1408002	1508079
1408031	1508104
1408042	

経済学科

1303010	1403104
1303054	1403109
1303067	1403170
1303086	1503012
1303130	1503013
1303131	1503064
1303135	1503106
1403012	1503133
1403044	1503135
1403075	1503163
1403079	

経営情報学科

1304012	1404098
1304052	1404106
1304055	1504042
1304059	1504044
1304098	1504053
1404026	1504105
1404055	1504118
1404064	

経済法学科

1309015	1309032
---------	---------

1309050	1409100
1309079	1509004
1309102	1509021
1409008	1509027
1409009	1509030
1409027	1509042
1409039	

福祉計画学科

1305026	1405092
1305034	1405095
1305074	1505008
1305078	1505037
1305096	1505038
1405041	1505045
1405050	1505051
1405053	

福祉臨床学科

1306003	1406057
1306016	1406082
1306031	1506004
1306038	1506035
1306059	1506053
1406025	1506089
1406042	1506093
1406056	

福祉心理学科

1307007	1407048
1307012	1407074
1307033	1507010
1307038	1507027
1307067	1507028
1407005	1507037
1407013	1507045
1407026	

英文学科(短大部)

1571023	1571082
1571080	1571135
1571081	1571141

生活創造学科(短大部)

1572008	1572049
1572018	1572067
1572033	



白熱したバスケットボールの試合

今年度の体育祭は天候にはあまり恵まれずソフトボールは中止も視野に考えていきましたが、無事予定通りの日程で行うことができました。責任者共々嬉しく思っています。今年のスローガンは「HOKUSEI NO HAJIMARI(君も一緒にドラゲナイ?)」で、2016年最初の大学行事である体育祭を北星生なりに良いスタートを切るようにという願いと楽しんで参加してもらいたいという意味を込めてつけました。また、例年同様、各サークル・有志の皆様には多大なご協力をいただきました。円滑な運営、公平な審判で競技が行われ、無事成功を収められたいと思います。

体育祭を終えて

第55回大学祭実行委員会 委員長 松本 美羽

今年度の体育祭は天候にはあまり恵まれずソフトボールは中止も視野に考えていきましたが、無事予定通りの日程で行うことができました。責任者共々嬉しく思っています。今年のスローガンは「HOKUSEI NO HAJIMARI(君も一緒にドラゲナイ?)」で、2016年最初の大学行事である体育祭を北星生なりに良いスタートを切るようにという願いと楽しんで参加してもらいたいという意味を込めてつけました。また、例年同様、各サークル・有志の皆様には多大なご協力をいただきました。円滑な運営、公平な審判で競技が行われ、無事成功を収められたいと思います。



ダブルスの卓球大会

星学祭は一般の方にも公開しておりますので、ご家族やご友人のみなさんとぜひ北星学園大学にお越しください。なお、星学祭の詳細は、決まり次第HPなどでご案内いたします。多くの方のお越しをお待ちしております。

星学祭では、毎年恒例となっている「模擬店」「餅まき」「砂金堀り体験」「アーティストによるスペシャルライブ」を行う予定です。また、大学祭実行委員会が中心となり新たなイベントも企画中です。

今年で五十五回目を迎える大学祭(星学祭)が十月九日(日)～十日(月・祝)の二日間、本学にて開催されます。

十月九日(日)～十日(月・祝)

大学祭のお知らせ

第13回東日本被災地支援ボランティア及び第2回国際ボランティア・ワークキャンプ派遣について



国際ボランティア・タイ児童福祉施設の子どもたちと

スミス・ミッションセンター（SMC）では、2011年4月に第1弾17名の震災ボランティアを派遣し、第4弾からはSMC学生団体「北星ネット」の企画・運営のもとに、2016年3月に至るまで12弾を派遣してきました。この間、後援会の皆様から交通費やボラ

ンティア保険の補助を受け、これまでのべ約300名の学生が参加しました。現地では、当初は炊き出し支援・瓦礫の撤去・子どもの学習支援・引越越し支援等、後には農作業支援・仮設住宅での傾聴ボランティア（お茶っこ、ラジオ体操）等、様々な活動を行ってきました。例年学生の社会貢献への意識は高く、定員を超える学生の応募がありました。また参加した学生たちからは、被災地の方々との出会いを通し、人生に影響を与える有意義な経験をしてきたという報告を受けております。

震災から5年目を迎え、規模こそ縮小していますが、生活復興のお手伝いなどボランティアの力が必要とされているところがあります。また東日本大震災の教訓を現地から学ぶことで、自分の住む地域の防災に備える意識を高める意義も高くなっています。そこで、北星ネットでは第

13弾を実施し、2016年8月から9月にわたり、全4期にわたり計12名のボランティアを派遣する予定です。派遣先は日本キリスト教団東北教区被災者支援センター「エマオ」で、被災地での農作業支援、仮設住宅訪問、フィールドツアー等を行う予定です。

これとは別に、昨年度からタイへのボランティア・ワークキャンプを行っています。学生の皆さんにグローバルな視点を獲得してもらい、本学の教育理念である人間性、社会性、国際性を身に着けていただくためです。第1回のワークキャンプでは、学生たちは児童福祉施設の子供たちとの一週間にわたる交流や奉仕活動を通して、不幸な境遇の中にも輝く子どもたちの笑顔と優しさに触れて、生涯忘れがたい体験をしたという報告をしています。また、タイと日本の文化交流（盆踊りとタイの踊りの交換、日本食や遊びの紹介等）を行い、日本とは違うアジアの国を体験し、同時に自分達の国の文化や社会についても理解を深めるきっかけともなりました。今年度も引き続きタイ王国のパタヤにある社会福祉法人バーン・ジンジャイ児童福祉施設の協力のもと、国際ボランティアを派遣します。引き続きご理解とご支援をお願いいたします。



農作業支援をする学生たち

第41回 北星学園大学公開講座

テーマ 現代教育の必須アイテムを探る —子どもの明日に必要なことは？—

後援/札幌市教育委員会

■開講日程および講義題目（各回開催時間18:20~19:50） ■会場 北星学園大学

日程	講義内容
◎第1回 9月23日（金）	演題：障害者差別解消法施行に見る共生社会を目指した教育とは 講師：田 実 潔（本学 社会福祉学部 教授）
◎第2回 9月30日（金）	演題：オープンデータ化と情報教育 講師：古 谷 次 郎（本学 経済学部 教授）
◎第3回 10月7日（金）	演題：子どもが学ぶ英語教育ワークショップ 講師：江 口 均（本学 文学部 准教授）
◎第4回 10月14日（金）	演題：今、スポーツ教育に必要なこと—自主、自立を促す指導とは 講師：掛 屋 忠 義（学校法人 札幌大谷学園 強化クラブ連携推進担当参与・教諭）
◎第5回 10月21日（金）	演題：危機の時代の教育思想—ルソーの教育哲学から学ぶ 講師：鈴 木 剛（本学 文学部 教授）
◎第6回 10月28日（金）	演題：18歳選挙権時代の主権者教育 講師：高 杉 巴 彦（本学 文学部 教授）

*スケジュール及びタイトル等は変更になる場合があります。

申込方法

- ①「開催要項」を社会連携課にご請求いただき、添付の申込用ハガキに52円切手を貼付して、お送りいただくとともに、要項添付の本学所定振込用紙にて、受講料をお振り込みください。
- ②月～金曜日9:00-11:30/12:30-17:00のみ、社会連携課窓口（C館1階）でもお申込みいただけます。事前に電話連絡のうえ、ご来室ください。
- 受講料/2,000円（全期間セット） ■定 員/200名（定員に達し次第締め切ります）
- 申込締切/2016年9月9日（金）必着（受講料振込・申込ハガキ必着）
- 申 込 先/北星学園大学 社会連携課「公開講座」係
〒004-8631 札幌市厚別区大谷地西2丁目3番1号 電話 011-891-2731(代)

「HBC少年少女合唱団チャペルコンサート」が開催されました。

六月二十六日（日）十五時から、本学チャペルにて「HBC少年少女合唱団チャペルコンサート」が開催されました。

当日は小雨が降る中ではありましたが、地域の方を中心に二二九名の方が来場してください、チャペルは二階まで満席となりました。

出演者は、HBC少年少女合唱団のシニア（中学生）クラス六十九名。伝統的な合唱曲、美しく青きドナウ「花のまわりで」や童謡の「おぼろ月夜」「村祭」など馴染み深い曲が演奏されました。また、海外の合唱曲や「Ave Maria」「太陽のマーチ」など、全十八曲に及ぶ演奏に魅了されつつ、一時間半のコンサートは大盛況のうちに終了いたしました。

チャペル内には素晴らしい歌声が響きわたり、観客のみならず大変喜んでいただきました。



美しい歌声が響いた満席のチャペル

北星学園大学 教育振興寄付金ご芳名

募金のご協力に 深く感謝申し上げます。

2016年5月1日から5月30日まで
（敬称略）

☆大学・短期大学部
（父母・旧教員・理事・教職員）

- 石松黒真横西北佐南千佐
田岡川川鍋倉田風藤葉藤
祥隆順 一 是 義 計 淳
章 貴 則 子 忍 基 男 紀 和 守
- 樋大浅中植越丹伊杉薄
田山岡路松野野々藤村石
繁 綱 頭 貴 秀 枝 香 昌 義
郎 夫 彦 彦 毅 昭 美 み 宏 行

あとがき

北海道にも爽やかな夏の季節がやってまいりました。キャンパス内も活発な学生たちが賑やかに過ごしています。

事務局では、今月末からスタートする「地区別父母懇談会」の準備を進めています。これまで参加された皆様から「来てよかった」「来年もまた参加したい」という声を数多くいただき、感謝しています。多くの父母の皆様と各会場でお会い出来ることを心より楽しみにしております。

（後援会事務局 西藤・大津）